

いなづま

題字 小寺 寛一

工事協同組合
函館地方電気工業

住所 函館市新川町31番11号

編集人 佐藤輝夫

印刷所 有限会社 豊國堂印刷

梶原理事長あいさつ

梶原 邦夫氏
大正八年十月二十日生
昭和十一年函館市立商工実習
学校本科電気科卒、梶原電気
工業(株)取締役社長



五月晴れの五月二十三日の第二十二回の定期総会も、会員各位の深い御理解と御協力を得まして、重要議案も万場一致で可決せられ、役員改選に於きました。従来にみられぬ真剣な投票となり、四十五年度の組合運営に就いて、皆様方からの役員に対して寄せられる期待も、誠に大である事を痛感致して居ります。又再度理事長に就任致しました私としても心を新たにして、二年間の職責を全う致すべく全力をつくす所存でありますれば、よろしく御指導、御助言の程お願い致します。右、簡単であります御挨拶と致します。



竹内 八郎氏
明治三十八年十一月十日生
大正十二年立函館中学校卒
北斗電気(株)取締役社長

竹内副理事長あいさつ

只今対米問題、特に貿易関係で日米で激しく応酬なされているのは周知の通りであります。お互に云分があり、特にアメリカが主張する日本からの輸入制限の日本の抗議に対し、日本の貿易自由化促進の不履行と云う日本のない所をつられて困っているわけです。一方、日本今日の繁栄が貿易及び共に関する生産増大が成功的の鍵であつただけに、若しあの敗戦の結果、日本がソビエトの治下に入つて居つたならどうであろう。チエコ其他の衛星国家のあたり方を聞くにつづけのだけ自由に主張出来、振舞へる日本に住める事を幸福に感じてる一人ですが、果して私の様な考への人がどれだけいるか等と考へて居ります。

伊東副理事長あいさつ

此の度、理事長の補佐役として、大役をおおせつかり、責任の重大さを感じて居ります。組合員の増加に伴い、

伊東 幸一氏
大正五年三月二十七日生
昭和八年府立函館中学校卒
ユタカ電機取締役



「昭和四十五年度総会終る」

第二十二回総会は、肌寒い五月二十三日 午前十一時より、末広町五島軒において、不気味な波乱を含んで開かれた。

嵐の前の静けさの様に、殺気を感じる中で先ず、議長大倉氏、副議長竹田氏を選び、理事長挨拶から開始された。

総会前の巷の噂では、総会不成立との声も聞かれたが、決算予算と爆弾の破裂もなく無事通過、事業報告も終り、いよいよ役員改選と時は迫つていつた。

それぞれの思惑と、情報交換の乱れ飛ぶ中で、市内十一名、地方四名の理事選挙方法が討議された。

二案、三案が提示され、約二十分の討議の結果、賛成多数を以つて、公開選挙に決定、午後四時過ぎ新任理事の決定を見たのである。

次いで監事二名の選挙に入り、無事本期役員選挙は終了したのである。

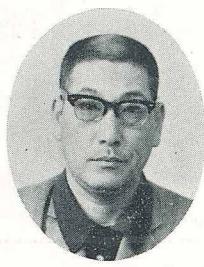
前理事会の決定により、本期より専務理事を廃し、副理事長二名を置く事になつて居りましたので、別室にて、理事長と副理事長の互選が始められました。

例年の如く、指名方式である。理事長公選を打出した理事者もあったが、これは否決、後に控えた永年勤続者表彰式の時間も迫り、理事長指名決定で終り、副理事長の件は新役員会に廻されてしまつた。

新役員会では、副理事長の選出方法は投票と決り、無事二名の副理事長が決定した。破壊含みの第二十二回総会は、新しい息吹を吹き込んで、新任理事決定を以つて静かに幕を下したのである。

大型化した組合の運営には幾多の難問が集積しております。幸いにして、此の度の役員改選では、進歩的な諸氏が、多数選任されておりますので、此の方々と肩を組み、手を取り合つて、解決の為の努力をしたいと思つております。しかし、組合の運営は、理事者のみにて出来るものではなく、組合員全員の協力と理解が必要なのでございます。私も微力ではありますが、業界発展のためには、協力と努力を惜しまないつもりであります。

市内理事



佐藤輝夫氏
大正十五年二月二十五日生
昭和二十年函館市立工業学校電気科卒
旭電氣工業所取締役社長

工藤義一氏
大正十三年二月二日生
昭和十六年大連市河口満鉄技工養成所卒
(有)工藤電氣商會取締役社長

大倉伸夫氏
昭和三年五月九日生
工業学校卒
大倉有線電氣株式會社取締役社長

猪股貢一氏
大正九年十二月二十一日生
昭和十七年官立小樽高等商業學校卒
(北)弘電社函館營業所長



地方理事



松崎義雄氏
大正十三年一月五日生
共榮電氣工業株式會社取締役社長

森谷勇一氏
大正十二年一月三日生
昭和十四年序立函館工業字校機械科卒
モリヤ電飾代表取締役

平沼智子氏
大正九年五月三日生
昭和十二年序立函館高等女學校卒
樺電工業株式會社取締役社長

細川政明氏
大正六年一月三日生
日本電機保全株式會社代表取締役

吉田要氏
昭和三年八月一日生
昭和二十一年京都市立第一工業學校電氣科卒
拓北電業株式會社函館出張所長



岡田辰之助氏
明治三十三年五月五日生
(有)岡田電氣商會取締役社長

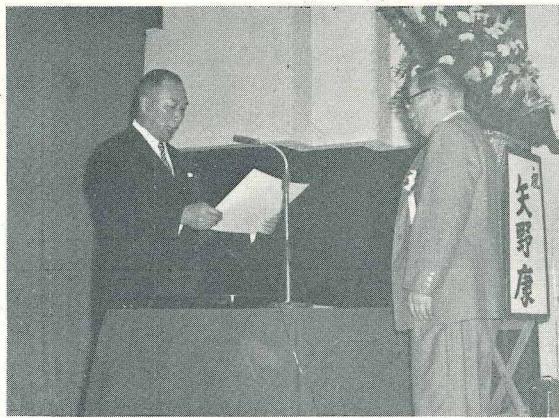
花田照子氏
大正十二年九月三日生
昭和十五年大谷高等女學校卒
(有)昭和電氣工事代表取締役

石島寛氏
昭和九年一月二十二日生
昭和二十五年錢龜中學校卒
(有)石島電氣工事店取締役社長

谷義一氏
昭和二年二月九日生
昭和二十年序立八雲中學校卒
谷電氣工業所代表取締役

第二十二回総会終了後、同会場に於て、事業王百五十名、渡島支庁長、函館市長、函館市会議長、北電支店長等、市内有力、有各人、二十数名の列席を賜り、従業員永年勤続者、四十名を招待して盛大に表彰式が行われた。

永年勤続表彰式



感激にひたつておりました。
式終了後、事業主、来賓、
に移り、和氣あいあいの中を
た。
今年表彰された方々は、一
以上が九名、十年以上は二工
務先と氏名を記して今後共、
望し此の項を終ります。

工藤
義一記

勤続10年以上				
No.	会社名	氏名	No.	会社名
1	北斗電気	高野 正勝	14	第一電氣
2	"	菊地 博美	15	協信電氣
3	弘電社	小澤 是康	16	市内工藤電氣
4	樺電工業	佐藤 浩	17	福島町
5	太陽電氣	尾閑 孝治	18	谷 電 氣
6	共栄電氣	菅野 広	19	古川電氣
7	川口電氣	館山 敏之	20	日本電設
8	"	桑高 和久	21	"
9	旭電氣	馬場紀八郎	22	荒井組
10	"	新田 豊治	23	高橋電設
11	大倉電氣	飯塚 寿明	24	光商電機 (志海苔)
12	"	小管 光男	25	佐々木電氣
13	光生電氣	境田 明男		"

勤続15年以上					
No.	会社名	氏名	No.	会社名	氏名
1	品沢電気	平野秀己	6	日興電気	畠谷善一
2	樺電工業	菲沢武光	7	協信電気	山本優
3	力	小柴忠昭	8	日本電設	当山利雄
4	川口電気	酒井好一	9	"	佐藤八郎

勤続20年以上					
No.	会社名	氏名	No.	会社名	氏名
1	品沢電気	藤原 孝義	5	弘電社	早坂金太郎
2	協信電気	浅井喜代己	6	"	山本吉太郎
3	北斗電気	賀村 善治	7	"	鈴木 喜男
4	"	熊谷浩四郎			

41名

組合創立以来二十有余年、組合員も二〇〇名にならんとする今日、旧来の理事会の在り方から、近代的な理事会へと移行する絶好の時期と思われる。

一九七〇年の初頭を飾つて、外線業者の新会社が発足、一括受注、平等配分と、業界に新風が吹き込んできました。

我々内線主体業者も、此の辺でなんとかしなければと、気をもんでいる昨今ではなからうか。

組合員増加の問題、既存業者の保護、従業員の確保、工事費値上等、あらゆる問題を誰が解決して呉れるであろうか。

我々の問題は、我々の手で解決しなければならないのではないか。

ここに百八十名の中より選任された代表者は御苦労乍ら、諸問題解決の為に努力をして戴きたい。また努力をしようではないか。役員改選後、初の理事会に於て、今後の運営方針として、左の五項目を選定、各部会毎に担当理事を配置し、計画研究を重ね、理事会に発表、決議を得て実施と言う形を取つて、前向きに活動する事を、満場一致で確約致しました。

其の部会と、担当業務内容を御知らせ致しましよう。

以上五つの業務分担をして、担当理事が必要に応じ、組合より助成委員を委嘱し、広く組合員と共に、より良い組合を作成するための研究、実施をして行く事になります。組合員たる皆様も、前進的な御協力を下さりまます事を願つて、此の項を終ります。

理事長・広報担当	機関紙発行・求人対策	一般PR・佐藤
訓練担当	情報提供	・猪股藤吉田
現業担当・北工連絡会	森谷工藤石島	・佐藤
・地区会議窓口	伊東吉田	・猪股吉田
○組合員苦情処理	吉田	・佐藤
○担当責任者	谷	・佐藤
吉田	伊東	・佐藤

— 総務担当 —	— 総合会策・組合加入 —
— 理事会議題立案 —	— 竹内、岡田
— 厚生事業 —	細川
— 事業計画 —	松崎
○ 平沼	○ 猪股
大倉	大倉

担当理事決る

「訓練校の運営について」

昭和三十九年、吾々電気工事業者の期待と希望を集成して発足した、当事業内訓練所は、その後種々の障害と糾余曲折の道を辿り乍らも六年度を経過して、昨年制定された新職業訓練法に依り、名称も『函館電気高等職業訓練校』と改められ、ここに四十五年度新学期を迎えることとなりました。

施設も組合事務所の間借り生活から解放されて、函館市の協力により旧丸井デパートを改装して設けられた訓練センターに移転する運びとなりました。

これに依り今迄実習は日吉町の総合訓練所を土曜日を利用して借用し、又教室は組合二階を転用、組合の諸会合との差繰りを計り乍らという不便から解消され、今后の訓練活動は独自の計画に依り自由にセンターを活用出来るという恵まれた環境となりました。容器が立派になると、おのづから中身もそれにふさわしいものをと望まれるのは自然の理で、ここに名実ともに訓練校の名に恥ぢない充実した成果が期待されるところです。

この好機に当り、訓練の成果を真に実りあるものとする為には、訓練校の運営関係者の適切な指導方向と訓練生の熱意が根本的な事は勿論の事ですが、それと同時に望まれるのは各事業主の訓練校に対する積極的な支援であると思はれます。

この事はその前提として訓練校が事業主にとって真に魅力あるものとする事が必要で、これは運営委員、指導員の責務であります、ここで考えて貰いたい事は、訓練校の実際運営活動が少なからざる経費(年間予算約壱百七拾萬円)と指導員各位(一部組合員とその従業員)の犠牲的奉仕とによって成り立っていると、思はれます。

残業、夜業による終業時間の不定で、訓練校の運営は、訓練生の意欲も盛り上らないのは当然で、訓練目標の設定、その実行も中途半端なお座なりに過ぎ、創立当初の熱意と意氣込みを以てその指導に当った組合員の中からも次々に指導員を辞退するという原因も、团体訓練の必須条件である出席状況の不良が最大の原因であると思はれます。

この事はいわゆる鶏卵の関係と同じく、原因結果の悪循環の現象となつて現はれ、訓練生、指導員共になげやりな方向におもむく事は避けられない事でしょう。

以上から訓練生を従業員にもつ事業主の方は大所高所からの展望のものに、理解を以て彼等に対する積極的な援助勉励が強く望まれる次第です。この事は各指導員の切なる希望と思はれます。

訓練校の発展と前進を計る事で、目前の利益よりも将来の大いなる企業の繁栄えとつながる一つの道としたいものであります。

尚、六月二十六日訓練センターに於いて、第五回訓練校総会並に卒業入学式を挙行しましたのでその概略と御報告致します。

先づ昭和四十四年度事業報告及び決算報告を承認し、昭和四十五年度事業計画並に予算を決定、訓練校運営委員、学年主任を改選、左記の通りになりました。

又、七月一日より新年度授業を実施することを確認しました。

又訓練校役員改選に当たり開校以来七年間訓練所長として活躍されました梶原前所長に対し、その業績をたゞ感謝状と記念品を贈呈する事に総会に於いて決議されました。

第一学年	第二学年	第三学年	監査
平井 電 気	梶原 邦夫	平井 行衛	駒井 亀太郎
工藤 義一	熊谷 浩四郎	平井 行衛	梶原 邦夫
学年主任	運営委員		"

交 通 安 全

法令教室——これだけは知つておきましょう!!

※夜間どんな明るい道路でも、灯火点灯の義務があります。※眼帯をかけて自動車を運転すると、五万円以下の罰金となる。※自動車の前輪が完全に停止しなければ、一時停止したことにならない。※タクシーの運転手がタバコを吸つて運転したら、乗客は制止できる。〔商法五九〇条、旅客に対する責任〕

※免許証は質に入れることも、質に取ることもできない。〔官法三四三条〕※免許のないことを持つて自動車を貸すと、五万円以下の罰金と、点数は八点となる。〔カーセックスは公然わいせつで、六ヶ月以下の懲役となる(カーとなるくるま)〕

四十五年六月一日全道一円に、安全運転監視車制度が実施されておりますので、運転車は十分注意して下さい。※模範運転者を指定して、日常運行のなかにおいて、自ずから模範運転の励行により、他の車輛の安全運転を促進し、あわせて交通暴力及び安全運転に反する行為に對し、善意の視監を行なう。又誠意ある注意警告を行なうとともに、悪質危険性の高い行為に對しては、関係機関に通報措置をもつて、交通事故防上に資することを目的として行なっております。

監視車には、後のウインドガラスに安全運転パトロール車のステッカーがはつてあり、又前方には、黄色の人形の顔のような旗を立てております。

以上、皆んなで交通事故を守り、無事故で明るい生活を送りたいものである。

昭和四十五年度 訓練校運営委員
業社名 氏名 役職名
モリヤ電飾 森谷勇一 訓練校長
工藤電気 工藤義一 副
花田庄一 森長 備
熊谷浩四郎 理

昭和四十五年度新規加入

新規加入組合員を紹介致します

(担当 吉田)

山越郡八雲町東町
七十二番地

館脇 涉氏 昭和十九年十月六日生、昭和三十五年岩越電気へ入社、正電社を経て四十四年小沢電気入社、本年三月認可申請す、登録番号一七五号

茅部郡森町字常盤町
十四ノ二
樋口 電気工業所
樋口 茂氏 昭和十二年十二月五日生、昭和二十八年谷電気へ入社、六年勤務後札幌東邦電気を経て四十年阿部電気商会に入社、本年三月認可申請す、登録番号一七六号松前郡松前町字福山
二七八
佐々木電気工事店
佐々木 一夫氏 昭和二年六月十二日生、昭和二八年稻村電気工業所に入社、七年勤務の後退藤電気工業所に入社、四十四年井上電気商会を経て本年一月認可申請す、登録番号一七七号

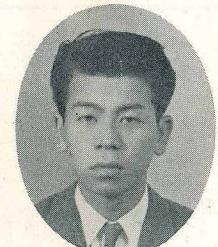
函館市湯川町二丁目 四三一六

松木電気工業所

松木三郎氏 昭和十年十月二十七日生、昭和二十六年大鎌電気に入社、途中二年程大阪近畿電気を経て四十二年大鎌電氣退社、北邦電気商会勤務後本年二月認可申請す。登録番号一七八号

龜田郡七飯町字鳴川一三長谷川秀広氏 昭和十三年四月四日生、昭和三十年守屋電気商会に入社、途中一年程日本電機保全会勤務し四十三年に退社、その後丸山電気に臨時勤務、本年二月認可申請す。登録番号一八二号

秋山 駿氏 昭和十五年七月十五日生、昭和三十一年北日本電建木古内出張所入社、昭和三十五年原田電気商会を経て三十五六年下山電気商会入社、八年勤務後四十四年丸山電気工業所臨時勤務本年一月認可申請す。登録番号一八三号

上磯郡上磯町字七重浜
二三三二七
七尾電気工業所
七尾 拓美氏 昭和十七年九月二十六日生、昭和三十四年北邦電気商会に入社、三十七年より品沢電気工業所を経て本年一月認可申請す。登録番号一八一号龜田郡龜田町字港四
一〇一一八三
羽衣 電気
窪田 秀勝氏 昭和十二年八月十日生、昭和二十八年品沢電気工業所に入社、十六年勤続の後、十四年平野電気へ移籍。本年二月認可申請す。登録番号一八〇号

秋山 駿氏 昭和十五年七月十五日生、昭和三十一年北日本電建木古内出張所入社、昭和三十五年原田電気商会を経て三十五六年下山電気商会入社、八年勤務後四十四年丸山電気工業所臨時勤務本年一月認可申請す。登録番号一八三号

山岸 電気商会
山岸 勇氏 大正十年五月五日生、昭和十一年三月組へ入社、事從事、三國組へ入社、昭和十四年電工事、電線工事、電線工事、昭和十五年電工事、電線工事、昭和十六年武市電気工業所入社、途中二年程東京都鈴智電気商会を経て四十二年退社、その後中野電気商会に入り本年二月認可申請す。登録番号一八五号茅部郡南茅部町木直
一三八
汐谷 電気商会
汐谷 石敏氏 昭和二十一年八月十九日生、昭和三十六年武市電気工業所入社、途中二年程東京都鈴智電気商会を経て四十二年退社、その後中野電気商会に入り本年二月認可申請す。登録番号一八五号

おかめ八目

『人を買いかぶる誤り』

人間は正義感で動き人間的愛情によつても動くものではないと思ふ。決して利害の面だけに動くものではないと思ふ。

そこで人を高く買いかぶつて、少くとも多少は教養ある人間は利害などを度外に於いて行動するものだと期待したら大きな間違いである。我々人間は社会構成の一員である、日常の生活も己れ一人の力ではどうにもならない。個々の人間が持つてゐる特殊才能を惜しまず利害にあまりこだわらずに社会に還元することが即ち社会奉仕であろう。人の為に骨を折つても何にもならないと協力せず、外に於いて批判非難するのはどんなものであろうか。

矢張り利害を越えての事なのであるうか、それとも教養があるからなのだろうか。

『酒』

とかく日本人は酒を好み、悲しみ、喜び、苦しみとあらゆる行事に酒はつきものである。

ある会議で論争しAとBは対立した、会議終了後酒が出た、美人がはべり空気も和やかになつてきいた時、先程対立していたAとBは『やあ、やあ』と何事もなかつた様に談笑している。

終つてAとBは肩を組み二次会へと流れて行つた。ここでもし酒が出なかつたならばAとBは対立のまゝ解散し面白くない感情を個々に酒でいやすことである。その酒は後味を直すどころか益々AとBを非難することである。酒を上手に飲むことに依り人の和がともたれ心のうちも知れるのではないだろうか。

『拝観料とお守り』

先日ある会で日光へ行つた、昔から『日光を見ない結構と云へない』と云はれてゐるくらいの人口にのぼつた観光地である。

神社仏閣は勿論、公園庭園すら入場料をとる昨今である故。別に日光で拝観料をとられた事については腹も立たなかつたが、拝観料の領収書の替りにいち／＼お守りを出したのには一寸抵抗を感じた。

第一の門に入る時は団体であったのでスイ／＼と葵の紋のバッヂをつけいかめしい門番の前を通過したが、家康の墓所は五十年に一度の開扉とかで今年はその五十年目との由であった。案内人はその好運を力説していたが。

帰り口のところで鈴のついたお守りをもらつた、本殿に上つて廊下を通り建築當時からの建物と云ふ奥殿に入った、ここで百円也、和紙のお守りをもらつた。相当数の外人の観光団が入つて、がたどはお守りを受取らない様であった、日本人ガイドの智慧かも知れない、有名な鳴龍の天井のある堂では五十円、赤い金欄のお守りをもらう、御利益か竜はかすかにチリ／＼と鳴いた。

お守りを身につけると云ふ事は神仏と共にあり、神

仏が身替りとなつてその偉大な力で災害から逃れる意味であろうと思つて、がこう二つも三つも頂くと、どの神仏に頼つてよいのか身につける方も迷うし、神仏側も責任者が誰か、面くらうのではなかろうかと思ふ、お守りをくれた日光社の祭神は家康、秀吉、賴朝とのことであった。私にとつてはどれも他力本願の対象となる人物ではない、お守りとは一つのものに集中してこそその価値と功德があるのでなかろうか。

宿に帰つてバックの中の三つのお守りをみて、ヤレ／＼このお守りの仕末をどうしようかと思つたことで、あつた。

(つづく)のノートより

平沼 智子

＊＊＊編集後記＊＊＊

☆電力需要は経済成長と相まって、年々増加の一途をたどつており、この増大率でいくと昭和六十年には現在の約四倍になるという。

☆七月は建設の槌音が忙しく聞かれる季節と同時に、労働災害などによる死傷者も増加する季節です。飲酒、麻雀などによる夜深しは慎しみ毎日を安全第一に過ごしましょ。☆私ごとで恐縮ですが、今回編集長に任命され、荒井、猪股両先輩から引継だけに薄学微力が目だつばかりだが、優秀な編集委員の仲間にめぐまれて「いなづま」が立派に育つよう頑張りますのでよろしく、就いては組合員の皆様に職場の話題、業界の活題、あるいは「いなづま」に対するご意見、ご感想などを伺う。結構です。投稿歓迎致します。佐藤記

未来を開拓する

三菱電機株式会社

電気資材卸

大興電機株式会社
函館市千歳町五番十号
電話 二三一六二一一一

総合卸商

隆東電機株式会社

函館市大繩町一番四号
電話 二三一六二一一一